

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 09010150

政策目標	1 はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】 ※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 平成24年度～平成26年度 ・事業概要 ①預託費の1/4補助 ②哺乳牛施設に要する費用の1/4 ③育成舎等の増改築に係る費用の1/4 (①～③の合計額：限度額1戸当たり100万円) ・事業費 15,000千円×3年=45,000千円
基本施策	1 農業の振興	事業優先度	A	
単位施策	3 生産技術の向上	政策事務分類	1 単独自治事務(例規)	
事業名	農業経営改善等緊急対策事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成26年度	担当課	9 産業振興課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	事業申請者戸数	ハード/ソフト・事業区分	2 ソフト事業	
事業目標	15戸	関係例規・法令名	有 雄武町農業経営改善等緊急対策事業補助金交付要綱	
住民参加 住民協働	無	関係個別計画名	無	

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	本町の酪農家が安定的な営農活動を図るため、雌雄判別精子の交配による優良雌牛を生産し、生乳生産量の拡大を図っているが、増頭となった雌子牛が確実に飼育され搾乳されるよう、飼養に要する経費の一部を助成する。 ※ 3ヶ年の緊急対策事業とし、1戸当たり補助上限を3ヶ年で1,000千円とする。	雌子牛の飼養に要する費用の助成 15戸×1,000千円=15,000千円	雌子牛の飼養に要する費用の助成 15戸×500千円=7,500千円			
	事業費(千円)	22,500	15,000	7,500	0	0
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	22,500	15,000	7,500			
実 績 事 業 費	事業費(千円)	6,635	6,635	0	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	6,635	6,635				
関 連 事 項	特定財源の名称					
	【評価・実績】	(実施内容等) 雌子牛の飼養に要する費用の助成	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
		※前年度評価結果 B-継続/拡充	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値 申請農家戸数 15戸	申請農家戸数 15戸			
	第6期計画への継続 (継続無し)	年度達成率 全体達成率	44%	0%	#DIV/0!	#DIV/0!
	事業進捗状況	☆☆☆☆	29%	29%	29%	

事業名	農業経営改善等緊急対策事業	評価者	管理職 職氏名	産業振興課長	横田 和 幸
		評価者	作成者 職氏名	農務係長	宇野 敏 志

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	酪農家	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	育成牛の安定した飼養管理
【抱える課題やニーズは】	農業資材等の高騰により酪農経営が圧迫され、搾乳後継牛の計画的な確保・更新に支障をきたしている。また、子牛の生産から搾乳まで長期間にわたることから、経営悪化による酪農が懸念される。	指標(指標計算式/解説)	目 標 値 及 び 実 績 値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	搾乳後継牛となる雌子牛の計画的な確保・育成	①	事業申請者戸数
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	酪農家の経営継続、生乳生産量の確保・増大		目 標 年 度
			目 標 値
			実 績 値
			達 成 度
			146.7 %
		②	事業費
			目 標 年 度
			目 標 値
			実 績 値
			達 成 度
			44.2 %
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	預託料、育成牛施設、哺乳牛施設に係る補助	対象事業を行った酪農家に対して、事業に要した費用の一部を補助した。	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	農業を取り巻く環境は依然として厳しく、本町酪農業の衰退が懸念されることから、経営安定化を図るために必要である。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	事業の活用により酪農業の経営安定化と延命化が図られた。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	酪農家のニーズに沿った利用がされており、効率的な効果が図られている。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

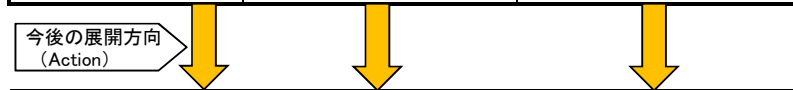
公平	判断の理由	補助事業を行うにあたり、自己負担と補助上限を定めており、公平であるとする。
公平/概ね公平/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A	B	
	一農家に対する補助上限があるため、申請戸数は計画を上回ったが、執行額は計画を下回った。	



継続/縮小	継続/内容の見直し・変更	
	一農家に対する補助上限があるため、執行額が低迷した結果となった。次年度においても同様のことが想定されることから、対象となる酪農家を想定し、予算額の見直し等の検討を行う。	

※展開方向の区分
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 終了 休止 廃止